



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 花月園観光株式会社
コード番号 9674 URL <http://www.kagetsuenkanko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松尾 嘉之輔
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 堤 道雄

TEL 045-228-8860

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	451	—	29	—	24	—	39	—
28年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	2.26	—
28年3月期第2四半期	—	—

(注)平成28年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率につきましては、四半期連結財務諸表を作成していたため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	1,598	948	59.3	53.97
28年3月期	1,617	911	56.3	51.83

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 948百万円 28年3月期 911百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	909	44.6	62	13.0	50	22.9	59	—	3.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	17,666,000 株	28年3月期	17,666,000 株
29年3月期2Q	89,755 株	28年3月期	89,655 株
29年3月期2Q	17,576,331 株	28年3月期2Q	17,577,228 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューの手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想など将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
(2) 追加情報	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境に改善がみられるなど、緩やかな回復への動きが見られたものの、新興国経済の減速など国内景気への影響等の懸念から個人消費は回復までには至っておらず、未だ先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社が事業の主体をおく競輪業界におきましても、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は顧客サービスの向上に取り組むとともに、各サテライトの更なる効率的な管理・運営に努め増収を図ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は4億5千1百万円となりました。営業利益は2千9百万円、経常利益は2千4百万円、四半期純利益は繰延税金資産の計上に伴い法人税等調整額△2千万円を計上したこと等により3千9百万円となりました。

なお、当社は、公営競技関連事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

また、前第2四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成していたため、比較分析は行っていません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は2億5千7百万円(前事業年度末 2億3千3百万円)となり前事業年度末に比べ2千3百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1千万円、繰延税金資産が1千2百万円増加したことによるものであります。固定資産は13億4千万円(前事業年度末 13億8千3百万円)となり、前事業年度末に比べ4千2百万円減少いたしました。これは主に減価償却により有形固定資産が2千3百万円、のれんの償却により無形固定資産が1千5百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は15億9千8百万円(前事業年度末 16億1千7百万円)となり、前事業年度末に比べ1千9百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は1億8千万円(前事業年度末 1億8千1百万円)となり前事業年度末に比べ0百万円減少いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が8百万円増加しましたが、リース債務が1千万円減少したことによるものであります。固定負債は4億6千9百万円(前事業年度末 5億2千5百万円)となり、前事業年度末に比べ5千5百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が2千6百万円、長期リース債務が1千2百万円、繰延税金負債が8百万円、退職給付引当金が4百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、6億4千9百万円(前事業年度末 7億6百万円)となり、前事業年度末に比べ5千6百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は9億4千8百万円(前事業年度末 9億1千1百万円)となり、前事業年度末に比べ3千7百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益が3千9百万円あったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は59.3%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年8月3日に公表いたしました業績予想について本資料において修正しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期累計期間の四半期財務諸表に与える影響はありません。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	126,215	136,500
売掛金	92,655	88,685
繰延税金資産	-	12,398
その他	14,632	19,755
流動資産合計	233,503	257,340
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	376,722	364,910
構築物(純額)	16,688	16,172
土地	443,206	443,206
リース資産(純額)	13,018	3,498
その他(純額)	7,806	6,562
有形固定資産合計	857,442	834,351
無形固定資産		
のれん	285,234	269,388
その他	6,405	5,674
無形固定資産合計	291,640	275,062
投資その他の資産	234,727	231,458
固定資産合計	1,383,810	1,340,873
資産合計	1,617,314	1,598,213
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	89,850	98,100
リース債務	34,632	24,483
未払金	41,436	38,413
未払法人税等	6,973	8,699
未払消費税等	6,103	7,914
預り金	1,941	2,155
その他	130	465
流動負債合計	181,067	180,232
固定負債		
長期借入金	392,450	365,750
リース債務	75,856	63,485
繰延税金負債	19,058	10,179
退職給付引当金	22,558	17,613
負ののれん	6,594	4,512
その他	8,669	7,915
固定負債合計	525,187	469,455
負債合計	706,254	649,687
純資産の部		
株主資本		
資本金	883,300	883,300
資本剰余金	399,649	399,649
利益剰余金	△374,668	△334,981
自己株式	△10,816	△10,823
株主資本合計	897,465	937,144
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,594	11,380
評価・換算差額等合計	13,594	11,380
純資産合計	911,059	948,525
負債純資産合計	1,617,314	1,598,213

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位: 千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	451,309
売上原価	245,589
売上総利益	205,720
販売費及び一般管理費	175,736
営業利益	29,983
営業外収益	
受取利息	676
受取配当金	703
負ののれん償却額	2,082
その他	627
営業外収益合計	4,090
営業外費用	
支払利息	10,048
営業外費用合計	10,048
経常利益	24,025
税引前四半期純利益	24,025
法人税、住民税及び事業税	4,653
法人税等調整額	△20,314
法人税等合計	△15,661
四半期純利益	39,686

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	24,025
減価償却費	23,913
のれん償却額	15,846
負ののれん償却額	△2,082
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△4,944
受取利息及び受取配当金	△1,380
支払利息	10,048
売上債権の増減額(△は増加)	3,969
立替金の増減額(△は増加)	△5,304
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,810
預り金の増減額(△は減少)	214
その他	△1,253
小計	64,863
利息及び配当金の受取額	1,602
利息の支払額	△10,164
法人税等の支払額	△4,309
営業活動によるキャッシュ・フロー	51,993
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	30,000
長期借入金の返済による支出	△48,450
リース債務の返済による支出	△22,520
割賦債務の返済による支出	△731
自己株式の取得による支出	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△41,708
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	10,284
現金及び現金同等物の期首残高	126,215
現金及び現金同等物の四半期末残高	136,500

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。